

# 問 村道未登記路線数は

# 答 村全体で114路線



松本喜美人議員

【村道等の不動産未登記問題について】

**問** 村道等の不動産未登記問題の有無は。

**村長** 村道敷きが、白馬村名義になっていない村道は現在存在し、昭和40年代から昭和50年代前半に、道路拡幅改良工事をした路線です。

**問** 未登記路線の地区と名称は。

**村長** 村全体では114路線で、大字別では神城39路線、北城75路線です。

**問** 固定資産税等の税負担は。

**村長** 公衆用道路用地等村有財産である土地については、現況が公衆用道路用地等

村が公共または公共の用に供する固定資産は非課税としています。土地課税台帳には、法務局の登記簿により、地目・地積を登録していますので、筆の一部が公衆用道路として使用されていても、分筆がされていない場合は課税しています。しかし、所有者から現況が公衆用道路用地の旨の届出があり、地積等の確認がとれば任意分筆のうえ非課税の場合もあります。

**問** 未登記解決に向けての取り組み状況は。

**村長** 平成28年度から4年間で和田野区内の村道認定箇所について、受託測量業者による用地確定・測量・用地契約・登記事務処理を実施し、その他に国土調査による未登記の道路敷き確認も進めたいと考えています。

**問** 【事業仕分けについて】

**問** 大田前村長が推進した各種事業の事業仕分けについて、継続・一部見直し・廃止に区分すると、JR白馬駅前等

の電線地中化事業の区分は。

**村長** 「一部見直し事業」と考えています。平成30年度までの、長野県第7期無電柱化推進計画の候補路線として、大町建設事務所と共に申請しましたが、「軒先配線は不可能で、裏配線の場合は道路があることが必要」というのが電線管理者からの回答です。無電柱化の方法を、軒先配線方式から地中化方式に変更し、長野県と引き続き協議・検討していきたいと思っています。

**問** 村道2026号線（神城山麓線）の北城地区への延伸事業の区分は。

**村長** 「継続事業」と考えています。地域役員懇談会の要望事項においても、複数の行政区から要望もあり、神城山麓線の延伸は必要と考えますが、現段階ではルート等は白紙の状態です。

**問** 【新年度の重点施策について】

**問** 「神城断層地震」の復興が最重要課題である。新年度に向けての財政運営方針と、復興以外の重点施策上位5点は。

**村長** 長野五輪などによる集中投資後、緊縮財政運営を進め、ようやく当村の財政状況も健全化になりつつあります。基本はその財政運営を継続し、必要な事業には予算付けし、メリハリのある財政運営を進めたいと思います。震災復興以外の

施策上位5点は、①白馬高校存続の支援事業、②平成29年2月の国民体育冬季大会開催事業、③当村の基本計画となる第5次総合計画策定事業、④学校環境整備の一つである共同調理場の建設事業、⑤特産品開発への支援や特産品を活用したふるさと納税事業の強化です。



測量の始まる和田野地区